

調査の概要

調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

道政上の重要課題や主要施策に関しての世論調査を実施し、道民の道政に対する意向や意識の的確な把握に努めるとともに、政策形成に反映させることを目的とする。

(2) 調査項目

- 1) 北海道の交通ネットワークについて
- 2) 犯罪のない安全で安心な地域づくりについて
- 3) 地球温暖化問題について
- 4) エネルギーに関する意識について
- 5) 障がい者の差別の解消の推進について
- 6) 家庭及び地域の教育力について
- 7) 安心して暮らし続けることのできる地域づくりについて

(3) 調査の方法

- | | |
|---------|------------------|
| 1) 調査地域 | 北海道全域 |
| 2) 調査対象 | 道内に居住する満18歳以上の個人 |
| 3) 標本数 | 1,500 サンプル |
| 4) 地点数 | 150 地点 |
| 5) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| 6) 調査方法 | 郵送配付、郵送回収 |
| 7) 調査期間 | 平成29年8月 |

(4) 調査実施機関

昇寿チャート株式会社

(5) 調査回収状況

- | | |
|----------|------------|
| 標本数 | 1,500 |
| 有効回収数（率） | 755（50.3%） |

2 調査回答者の特性

区分	総数	比率
【総数】	755	100.0%
【圏域別】		
道央広域連携地域	467	61.9%
道南連携地域	64	8.5%
道北連携地域	86	11.4%
オホーツク連携地域	31	4.1%
十勝連携地域	44	5.8%
釧路・根室連携地域	49	6.5%
無回答	14	1.9%
【人口規模別】		
札幌市	263	34.8%
人口 10 万人以上の市	196	26.0%
人口 10 万人未満の市	154	20.4%
町村部	127	16.8%
無回答	15	2.0%
【性別】		
男性	335	44.4%
女性	408	54.0%
無回答	12	1.6%
【年代別】		
18～29 歳	83	11.0%
30～39 歳	133	17.6%
40～49 歳	208	27.5%
50～59 歳	144	19.1%
60～69 歳	141	18.7%
70 歳以上	34	4.5%
無回答	12	1.6%

区分	総数	比率
【職種別】		
自営業（農林漁業）	12	1.6%
自営業（商工サービス業）	38	5.0%
自由業	18	2.4%
事務職系	212	28.1%
労務職系	149	19.7%
主婦	153	20.3%
学生	17	2.3%
無職	66	8.7%
その他	77	10.2%
無回答	13	1.7%
【市町村居住年数別】		
1 年未満	13	1.7%
1～5 年未満	44	5.8%
5～10 年未満	54	7.2%
10～20 年未満	106	14.0%
20 年以上	527	69.8%
無回答	11	1.5%

注) 個々の比率（百分率）は、少数第 2 位を四捨五入した。このため、各区分における比率の合計が 100.0%にならない場合がある。

3 サンプリング

母集団	道内に居住する満18歳以上の個人
標本数	1,500 サンプル
地点数	150 地点
抽出方法	層化二段無作為抽出法

(1) 層化

① 北海道の市町村を、次の6圏域に分類した。

【道 央】 札幌市、★江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、岩見沢市、美唄市、三笠市、滝川市、砂川市、歌志内市、南幌町、★小樽市、倶知安町、岩内町、余市町、★苫小牧市、室蘭市、登別市、伊達市、白老町、日高町

【道 南】 ★函館市、北斗市、七飯町、森町、八雲町、上ノ国町

【道 北】 ★旭川市、士別市、名寄市、富良野市、鷹栖町、留萌市、小平町、羽幌町、稚内市

【オホーツク】 ★北見市、網走市、紋別市、美幌町、遠軽町、大空町

【十 勝】 ★帯広市、音更町、芽室町、幕別町、浦幌町

【釧路・根室】 ★釧路市、釧路町、標茶町、根室市、中標津町

注) ★印は、札幌市を除く人口10万人以上の市

② 各圏域については、「札幌市」「人口10万人以上の市」「人口10万人未満の市」「町村部」と人口規模別に分類した。人口規模は、平成29年3月31日時点での住民基本台帳人口により分類した。

(2) 標本分配

調査対象が北海道内に居住する満18歳以上の個人であるため、平成29年6月1日時点の選挙人名簿登録者数を推定母集団とし、その大きさにより150の地点数を比例分配した。なお、各母集団は、住民基本台帳を抽出原簿として採用した。

(3) 抽出

① 第1次抽出単位となる調査地点（各市町村、条町丁字名別）の抽出

各層に配分した調査の地点数分、調査対象地区を抽出した。抽出に際しては、「住民基本台帳人口」を基に各地点の住民基本台帳人口の累積度数を算出して、各層の総人口に対する累積占用率を算出し、調査地点数分乱数を発生させて、該当する150地区を抽出した。

② 第2次抽出単位となる調査対象者の抽出

対象者の抽出は、地点ごとに抽出間隔を算出し、住民基本台帳から等間隔に10人抽出し、調査標本1,500を抽出した。なお、抽出に当たっては、満18歳以上の個人であることに留意した。

$$\frac{\text{調査地点推定人口総数}}{10} = \text{抽出間隔}$$

(4) 抽出結果

圏域、人口規模ごとの標本数、調査地点数は次のとおりである。

地域	人口規模	住民基本台帳 人口数 (H29. 3. 31 現在)	選挙人名簿 登載者数 (H29. 6. 1 現在)	標本数	地点数
道央広域 連携地域	札幌市	1,946,313	1,666,506	540	54
	人口10万人以上	411,405	353,766	120	12
	人口10万人未満	685,302	590,452	210	21
	町村部	307,639	266,153	70	7
道南 連携地域	人口10万人以上	263,750	230,673	70	7
	人口10万人未満	47,042	39,411	10	1
	町村部	129,723	113,669	40	4
道北 連携地域	人口10万人以上	341,308	294,650	100	10
	人口10万人未満	126,831	109,878	50	5
	町村部	147,137	126,159	30	3
オホーツク 連携地域	人口10万人以上	119,182	102,978	30	3
	人口10万人未満	59,092	51,017	20	2
	町村部	108,751	93,627	30	3
十勝 連携地域	人口10万人以上	167,540	142,989	50	5
	町村部	175,701	148,249	40	4
釧路・根室 連携地域	人口10万人以上	173,205	150,055	50	5
	人口10万人未満	26,712	23,028	10	1
	町村部	111,469	94,168	30	3
合計		5,348,102	4,597,428	1,500	150

4 調査地点一覧

圏域	抽出市町村		抽出地点
道央広域連携地域	空知総合振興局	岩見沢市	南町 8 条
			9 条東
		美唄市	西 2 条北
		三笠市	有明町
		滝川市	黄金町西
		砂川市	西 6 条南
		歌志内市	本町
		南幌町	緑町
	石狩振興局	札幌市中央区	北 7 条西 16 丁目
			南 13 条西 13 丁目
			南 18 条西 8 丁目
			南 24 条西 12 丁目
			南 28 条西 12 丁目
			宮の森 3 条 3 丁目
		札幌市北区	あいの里 2 条 7 丁目
			北 17 条西 2 丁目
			北 35 条西 3 丁目
			篠路 5 条 5 丁目
			新川 2 条 5 丁目
			新琴似 2 条 4 丁目
			太平 8 条 4 丁目
			屯田 7 条 2 丁目
		札幌市東区	北 19 条東 12 丁目
			北 45 条東 13 丁目
			北丘珠 3 条 2 丁目
			東苗穂 13 条 2 丁目
			伏古 2 条 5 丁目
			伏古 5 条 2 丁目
		札幌市白石区	東雁来 12 条 2 丁目
			川北 3 条 3 丁目
川下 5 条 3 丁目			
菊水 5 条 3 丁目			
菊水元町 6 条 2 丁目			
北郷 6 条 9 丁目			
米里 5 条 1 丁目			

圏域	抽出市町村		抽出地点
道央広域連携地域	石狩振興局	札幌市豊平区	月寒西2条4丁目
			月寒東4条8丁目
			豊平1条6丁目
			西岡2条4丁目
			平岸3条5丁目
			美園3条8丁目
		札幌市南区	川沿4条4丁目
			澄川4条4丁目
			藤野2条8丁目
			真駒内本町7丁目
		札幌市西区	西野4条7丁目
			二十四軒1条6丁目
			八軒5条東2丁目
			八軒5条東1丁目
			発寒10条2丁目
		札幌市厚別区	宮の沢1条3丁目
			厚別北1条3丁目
			厚別中央1条2丁目
			厚別西1条2丁目
		札幌市手稲区	厚別東3条3丁目
			新発寒3条3丁目
			手稲本町2条5丁目
			前田5条6丁目
		札幌市清田区	西宮の沢3条2丁目
			北野3条3丁目
			真栄3条
		江別市	平岡7条4丁目
			大麻沢町
			高砂町
		千歳市	野幌東町
			あずさ
			桜木4丁目
恵庭市	北栄		
	駒場町		
			末広町

圏域	抽出市町村		抽出地点
道央広域連携地域	石狩振興局	北広島市	青葉町
			栄町
		石狩市	花川南2条
			花畔
		当別町	緑町
		後志総合振興局	小樽市
	清水町		
	末広町		
	錦町		
	倶知安町		南4条西
	岩内町		東山
	余市町	入舟町	
	胆振総合振興局	室蘭市	絵鞆町2丁目
			高砂町4丁目
			みゆき町1丁目
		苫小牧市	明野新町
			音羽町
			白金町
			花園町
			宮の森町
登別市	鷺別町3丁目		
伊達市	錦町		
白老町	末広町		
日高振興局	日高町	門別本町	
道南連携地域	渡島総合振興局	函館市	旭町
			上新川町
			亀田町
			北美原
			白鳥町
			西旭岡町
			神山町
		北斗市	押上
		七飯町	鳴川1丁目
		森町	上台町
	八雲町	東雲町	

圏域	抽出市町村		抽出地点
道南 連携地域	檜山振興局	上ノ国町	上ノ国
道北 連携地域	上川総合振興局	旭川市	曙2条
			大町1条12丁目
			神楽3条9丁目
			神楽岡3条5丁目
			川端町2条7丁目
			春光6条8丁目
			未広2条5丁目
			東光18条5丁目
			永山5条10丁目
			緑が丘東5条2丁目
	士別市	東1条	
	名寄市	西11条南	
	富良野市	東町	
	鷹栖町	南1条6丁目	
留萌振興局	留萌市	見晴町	
	小平町	小平町	
	羽幌町	港町	
宗谷総合振興局	稚内市	萩見5丁目	
オホーツク 連携地域	オホーツク総合振興局	北見市	朝日町
			新生町
			常呂町常呂
		網走市	潮見7丁目
		紋別市	花園町6丁目
		美幌町	稲美
		遠軽町	南町
大空町	女満別西5条		
十勝 連携地域	十勝総合振興局	帯広市	西10条北
			西14条南
			柏林台南町
			東2条南
			緑ヶ丘2条通
		音更町	雄飛が丘北区
		芽室町	西3条
		幕別町	南町

圏域	抽出市町村		抽出地点
十勝 連携地域	十勝総合振興局	浦幌町	栄町
釧路・根室 連携地域	釧路総合振興局	釧路市	阿寒町北町
			音別町本町
			松浦町
			昭和北
			新富士町
		釧路町	別保
		標茶町	桜
	根室振興局	根室市	定基町
中標津町		西6条北	

5 この報告書の見方

- (1) 回答率（各回答の百分率）は小数第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 設問説明文にて複数の回答を求めているものには、2つ以上の回答を求めているものと、回答数に制限を設けているものがあり、いずれもその百分率の合計は100.0%を超える場合がある。
- (3) この調査は、標本調査であるため、全数調査の結果（真の値）から一定の範囲内で離れていることがある。これを標本誤差といい、層化二段無作為抽出の場合、信頼度95%のとき次の式で算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 回答者数
 P = 回答比率

上記の式により、回答者数（n）、及び回答比率（P）ごとに信頼度95%の標本誤差を計算すると、おおよそ次のとおりとなる。

回答比率(P) 回答者数(n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
755	±3.09%	±4.12%	±4.72%	±5.05%	±5.15%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
300	±4.90%	±6.53%	±7.48%	±8.00%	±8.16%
100	±8.49%	±11.31%	±12.96%	±13.86%	±14.14%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出している。

注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数（n）が755で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差は95%の信頼度で、±5.05%以内（54.95～65.05%）である」とみることができる。

- (4) 圏域別（道央、道南、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室）の該当市町村については、別途「4 調査地点一覧」（P5～P9）に記載している。
- (5) 設問ごとの解説は、回答数の多かった上位3項目を【全体】に記載し、このうち上位2項目について、【圏域別】【人口規模別】【性別】【年代別】【職種別】【居住年数別】の種別による状況を記載した。